

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <http://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL 048-873-0216 FAX 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成

「見守ってくれる木」

校長 小長谷 雅彦

4月19日に学校では5年ぶりに全校児童が体育館に集まって1年生を迎える会が行われました。避難訓練や一斉下校も予定通り行え、落ち着いた1か月を過ごすことができました。今年度のゴールデンウィークは、とびとびの日程になりますが、親子共々、新しい出来事でいっぱい4月の疲れを癒やす週間になってほしいと思います。風薫る5月ですが、暑い日が続きそうです。お子様の体調管理への配慮もよろしくお願ひします。

さて、私の家には「楷の木」(カキノキ)が生えています。多分ポピュラーな木ではないので、カキノキと言われてもピンとくる方は少ないと思います。私が教員3年目の時に子どもが産まれた時の記念樹として担任していた学級の保護者の方々からいただいたものです。植木鉢に数枚の葉を付けた苗木としていただきました。当時の私は、カキノキとはどんな木なのか想像もできませんでしたが、せっかくだいだいたものなので、定期的な水やりを行い、1年後くらいに庭に植え替えました。その後は定期的な水やりも必要なく順調に育ち、花や実はなりませんが、紅葉の時期には、きれいな黄色い葉を散らしてくれる存在として家とともに歴史を重ねました。年々大きくなり2階の屋根を超えるくらいの高さにまで育ち、剪定もままならない状態で、更に成長しているようです。



つい最近、自宅に留め置き車の屋根が黄色くなっていることに気付き、よく見ると左写真のような木の一部分が枯れたり風に吹かれたりしてたくさん落ちてきていました。過去にも落ちてきていたようですが、ここまでたくさん落ちてくることはなく、疑問に思ってカキノキについてネットで調べてみました。調べてみると、この部分はカキノキの花ということが分かりました。

カキノキは、中国原産で、整然とした枝葉の様子から書道の「楷書」にちなんで名付けられたとされています。日本には大正初期に渡来し、儒学に馴染みのある場所に植栽され、そこから各地に広まったことから「学問の木」として教育機関のシンボルツリーになることがあるのだそうです。いただいた当時は、あまり気にも留めていませんでしたが、私が教員であるので、そのような意味のある木を送ってくれたのだと知り、改めて感謝するとともに我が家を見守ってくれていたのだなと思いました。更に調べていくとイチョウと同様、雄株、雌株の区別がありますが、20年以上たないと区別はつかないのだそうです。樹齢は700年、樹高は30mになり、成長に伴って横幅も出てくるので相当なスペースが必要となり、一般家庭には向かないとのこと……。

中尾小学校も開校当時に地域の方々に植えられた木々が45年を過ぎて立派な姿を維持してくれています。落ち葉の片付けや剪定は大変ではありますが、当時の協力者の方々の思いを胸に、これからも中尾小の子どもたちを見守ってくれることを願って、残せるものは、できるだけ大切にしていきたいと思っています。

